

議会だより

目次	Contents
委員会報告	2～4P
一般質問	4～11P
議案の審議結果など	12～13P
次回定例会日程	14P



D51機関車が糸魚川駅構内を走行（12月17日糸魚川駅開業110周年記念イベント）

第6回定例会を開催～11月28日から12月15日まで～

本定例会では、条例関係、補正予算、指定管理者の指定などの議案53件、諮問2件、請願2件、陳情1件及び発議3件を審議しました。なお、陳情1件は継続審査となりました。本定例会における審議結果は、12・13ページをご覧ください。

議会の動き

10月

- 4日 議会運営委員会市外調査（～5日）
- 18日 市議会議員研修会
福島県福島市議会視察来市
- 19日 市民厚生常任委員会市外調査（～20日）
- 20日 鳥取県米子市議会視察来市
- 26日 建設産業常任委員会市外調査（～27日）
福井県大野市議会視察来市
神奈川県足柄下郡箱根町議会視察来市

11月

- 1日 市民厚生常任委員会
- 4日 新潟県市議会議長会議員研修会
- 9日 総務文教常任委員会市外調査（～10日）
- 11日 糸魚川市・小谷村・白馬村議会議員連絡協議会

- 16日 建設産業常任委員会
京都府宮津市議会視察来市
- 17日 議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 18日 神奈川県三浦市議会視察来市
- 21日 議会運営委員会
- 28日 本会議（初日）

12月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 本会議（一般質問）（5日、6日）
- 8日 総務文教常任委員会
- 9日 建設産業常任委員会
- 12日 市民厚生常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 本会議（最終日）

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査しました。

各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

12月8日に条例の制定4件、指定管理者の指定2件、補正予算2件、陳情1件を審査し、「糸魚川市DX推進計画（案）について」「糸魚川市文化財保存活用地域計画（素案）について」の所管事項調査を行いました。

○糸魚川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について

質疑 条例や規則などにより書面で提出、通知することとされている行政手続について、オンラインによる申請のサービスが令和5年1月から開始されるが、手続者の本人確認はどのように行うのか。また、導入に際しサポート体制の整備が必要ではないか。

答弁 本人確認はマイナンバーカードと、マイナンバーカードの使用に必要なパスワード入力という二要素認証により行う。分かりやすいマニュアル等の充実により、市民の皆さんに使いやすいものとなるように進めていきたい。

建設産業常任委員会

12月9日に条例の制定5件、指定管理者の指定19件、補正予算4件、その他の議案3件、請願1件、陳情1件を審査しました。また、「駅北子育て支援施設基本計画（素案）について」の所管事項調査を行いました。

○生活交通確保対策事業について（一般会計補正予算）

質疑 大型のバスよりも10人乗りなどのマイクロバスを走らせたほうが効率的ではないか。

答弁 運輸事業にかかる経費の半分以上は人件費である。車両の小型化により修繕費用など安くなるものもあるが、小型車両の購入費に対して、人件費の削減効果はあまりない。様々な面から経費削減をしなければならないが、車両の小型化よりも、まずは利用者のニーズに合ったダイヤ編成を進めたい。



一部の路線で運行されている小型車両（乗車定員14人）

市民厚生常任委員会

12月12日に指定管理者の指定11件、補正予算5件、請願1件を審査しました。また、「糸魚川市犯罪被害者等支援推進計画（案）について」「国民健康保険税の見直し方針について」の所管事項調査を行いました。

○指定管理者の指定について（小柳墓地）ほか8件

質疑 墓地については、指定管理者制度※の趣旨になじまないと考えるがいかがか。

答弁 糸魚川市の墓地ということになっているが、元々地縁に基づく共同墓地として地区が管理してきた経緯がある。今回はこれまでどおり指定管理者の継続ということで話を進めているが、今後の在り方について検討したい。

※指定管理者制度…民間の知識やノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、民間企業やNPO法人等の幅広い団体が公の施設の管理運営を行うことができる制度。



閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

総務文教常任委員会

11月17日

- ◎ 前副市長の公職選挙法違反の疑い事案について
- ◎ 妊産婦支援について

市民厚生常任委員会

11月1日

- ◎ 自治体新電力事業及び新エネルギーの導入状況について
- ◎ 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ◎ 市外調査の集約について

建設産業常任委員会

11月16日

- ◎ 柵口温泉権現荘の施設の現状と課題について
- ◎ 駅北子育て支援施設の検討状況について
- ◎ ガス料金の改定について
- ◎ 市外調査の集約について



行政視察報告

市の課題や先進事例を調査するため、他団体を視察しています。

令和4年10月、11月に実施した行政視察の概要は、次のとおりです。視察後は、委員会の中で意見集約し、本会議での委員長報告や行政への情報提供、提言を通して市政に反映していきます。

総務文教常任委員会(11月9日～10日)

視察先／調査項目

- ①石川県能美市／移住定住促進の取組について
子育て支援の取組について
- ②福井県あわら市／移住定住促進の取組について
子育て支援の取組について



あわら市で移住定住促進の取組等を視察

建設産業常任委員会(10月26日～27日)

視察先／調査項目

- ①長野県東御市／デマンド交通について
- ②長野県北佐久郡軽井沢町／観光施策について
- ③群馬県利根郡みなかみ町／自伐型林業について



軽井沢町で観光施策の取組を視察

市民厚生常任委員会(10月19日～20日)

視察先／調査項目

- ①千葉県柏市／フレイル予防の推進について
- ②栃木県宇都宮市／重症心身障害者医療的ケア事業及び医療的ケア児支援の連携について、うつのみや健康ポイント事業について



宇都宮市子ども発達センターで医療的ケア児の支援の取組を視察

議会運営委員会(10月4日～5日)

視察先／調査項目

- ①埼玉県東松山市／ハラスメント防止対策について
議員の兼業禁止について
- ②山梨県甲州市／2常任委員会制について
議員の兼業禁止について



東松山市でハラスメント防止対策の取組等を視察

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

11月17日

- ◎ 市外調査の集約について
- ◎ オンラインによる委員会開催に向けた取組について

11月21日

- ◎ 第6回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 令和4年度予算議会費の補正について
- ◎ 令和5年度予算議会費の要求について
- ◎ 議会運営について
- ◎ 市外調査の集約について

12月1日

- ◎ 議会運営について

12月14日

- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議員発議について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 3月定例会の会期及び日程(予定)について
- ◎ 議会運営について

委員会協議会

閉会中や休会中に常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

市民厚生常任委員会

11月1日

新姫川第六発電所の現地視察を行いました。また、化石燃料に頼らない発電の仕組みについて、糸魚川発電株式会社と懇談を行いました。



新姫川第六発電所を視察

※二次元バーコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。

宮島 宏 議員



問 新潟県の石になった翡翠について

質問

- 翡翠が新潟県の石に指定されたことを受けて、以下何う。
- (1) この指定の意義をどのように考えているか。
 - (2) この指定を具体的にはどのように活かしたいと考えているか。
 - (3) 山岳地域・河原・海岸にある翡翠の保護についての問題点や課題は何か。
 - (4) 翡翠のジオツーリズムでの問題点や課題は何か。
 - (5) 翡翠などの石の鑑定サービスの問題点や課題は何か。
 - (6) 翡翠の販売の問題点や課題は何か。
 - (7) 県との連携で進めている事業や、今後、展開される事業はどのようなものがあるか。
 - (8) 市の単独の事業として進めていく事業には、どのようなものを予定しているか。

市長答弁

- (1) 県議会や検討委員会の審議を経て全県的にヒスイの価値が認められたことは、大変意義があると捉えている。
- (2) 世界最古のヒスイ文化発祥地として、引き続きジオパーク活動や教育ツーリズムを通じて地域振興に活用していく。
- (3) ヒスイは限りある資源であることから、保護と活用のバランスが必要であると考える。
- (4) ヒスイ原石の保護・保全を踏まえた上で、ヒスイ峡やヒスイ海岸などの見学地の施設整備やアクセス向上が課題であると考えている。
- (5) 現状において、お客様のニーズに対応できないことがあることから、石の鑑定ができる人材の育成が課題であると考えている。
- (6) ヒスイ文化を継承する伝統工芸としての販売を前提に、ジオパーク理念にのっとり、適切な産地表示や原石等の資源管理が課題であると考えている。
- (7) 県の石指定以降、県内博物館でのヒスイの巡回展や講演会を実施しており、今後も普及講演会など広報活動を行い、ヒスイの魅力を伝えていく。
- (8) ヒスイに関する学術・普及事業や周知促進に向けたプロモーションビデオの作成、国の天然記念物「青海川硬玉産地」などの整備を進めていく。



その他の質問項目

- ジオパークにおける教育普及活動とジオツーリズムについて



渡辺 栄一
議員



問 糸魚川総合病院における産婦人科診療等の変更及び支援策について

質問

- (1) 少子化問題も深刻で看過できない事態であるが、産科閉鎖の経緯や事情をどのように認識しているか。
- (2) 当病院では出産を控えた妊婦のケアが全てできなくなるのか。
- (3) 当病院は、地域医療の中心的存在であり、産科の閉鎖について、市として何らかの対策を検討しているのか。
- (4) 市内で子どもを産み育てることがますます困難になることが予想され、出産を控えた世帯には不安が大きいと考えられる。サポートの対策を考えているか。

市長答弁

- (1) 糸魚川総合病院における出産件数の減少と産科医師の不足によるものと捉えている。
- (2) 妊産婦健診は継続していくと伺っている。
- (3) 引き続き富山大学に医師派遣をお願いするとともに、県や糸魚川総合病院と連携して、医師確保に努めている。
- (4) 現在行っている妊娠届出時の面談や乳児全戸訪問など、引き続き身近で気軽に相談できる体制となるよう努めていく。

問 当市における次世代モビリティである新たな公共交通手段について

質問

- (1) 現在の路線バスの運行利用状況や課題などをどのように考えているか。
- (2) 先般、建設産業常任委員会が市外調査を行った、長野県東御市のデマンド交通システムを先進事例として捉え、調査研究を通じて、導入する考えはあるか。
- (3) 高齢者の利用が多い電動カート（シニアカー）の購入に補助金制度などを設ける考えはあるか。

市長答弁

- (1) 利用者は減少傾向が続いており、運行本数の維持など、利便性の確保が課題となっている。
- (2) 現在、一部の地域において、タクシーの定額乗り放題の実証実験を行っており、デマンド交通を含め、地域の実情に見合った交通体系を検討していく。
- (3) 要介護状態や一定の障害のある方への給付制度等がある。

その他の質問項目

- 降雪対策について
- 当市の諸課題について

伊藤 麗
議員



問 木浦小学校の取組と閉校後の地域について

質問

- (1) 3～6年生が総合学習で取り組んだ錦鯉にまつわる学習の発表が行われた。糸魚川地域に残る錦鯉の文化について、市としてどのように捉えているか。
- (2) 全校児童と教職員の全身体制で取り組んだ「わくわくプロジェクト」が、博報堂教育財団による博報賞と併せて文部科学大臣賞を受賞した。わくわくプロジェクトがどのように評価され、今回の受賞に至ったか、市の見解を伺う。
- (3) 閉校後の校舎の活用について協議する中で、市が木浦地区に求めたい機能、行政課題は何か。

教育長答弁

- (1) 子どもたちが地域に根付く文化を学ぶことは地域への愛着形成、地域文化の伝承という点でも大変有意義であると考えている。
- (2) 小規模校であることを活かして、全校体制で子どもがやってみたい活動、みんながわくわくする活動、笑顔になる活動を提案、実践することを通して、子どもの主体性や創造性を継続して育んだ点が高く評価されたものと捉えている。
- (3) 今後、地域との協議を進める中で、機能や課題を探っていく。

問 子育て支援について

質問

- (1) 産科存続に向けた取組の進捗について伺う。
- (2) 11月17日に示された妊産婦支援策について、庁内でどのような議論がなされ、この内容に至ったのか経緯を伺う。
- (3) デイサービス型・宿泊型の産後ケアについて、今後、市として取り組む考えがあるか。

市長答弁

- (1) 富山大学に医師派遣をお願いするとともに、県や糸魚川総合病院と連携し、医師確保に努めてきたが、現段階では、分娩の取扱いを継続できる状況には至っていない。引き続き関係機関と連携し、医師・診療科確保に努めていく。
- (2) 妊娠、出産された方や糸魚川総合病院からの意見、他自治体の取組を参考として、関係課で支援内容を検討してきた。
- (3) 市民要望や受託可能な事業者の有無を確認し、検討していく。



保坂 悟
議員



問 駅北子育て支援施設の目的と市民周知について

質問

- (1) 「複数分散型のまちづくり」について、回遊性の取組はあるか。拠点整備ばかりで、民間力による周辺への波及を論じないのはなぜか。
- (2) 「子育て支援を中心とした機能」について、「乳幼児向けの屋内の遊び場、多様な子育て相談の場、高齢者の活躍の場」を整備して、最終的に多世代交流を目指すことを市民周知できているか。
- (3) 人の運動能力は幼児期の3歳から6歳までで8割が決まると文部科学省は説明している。悪天候のときでも子どもたちが伸び伸びと体を動かすことで、頭と体の成長を促すことになることを市民周知しているか。
- (4) 子育て支援センターと屋内遊戯場は、妊産婦の視点から、子どもが減少すると不要な施設と言えるか。
- (5) 議会では計画が過去のニーズによるものとして白紙撤回の意見があるが、今の子育て世代のニーズは本当にないのか。

市長答弁

- (1) 自治会や商店街、多くのまちづくり団体等が駅北で主体的な活動を行っている中で、新規事業所の開設もあり、新たな人の動きが生まれていると感じている。
- (2) 計画中的子育て支援施設は、子育て世代だけではなく、多世代の交流が図られるよう基本計画に盛り込んでいく。
- (3) マタニティスクールや幼稚園・保育園の保護者向け健康教室などを通して、市民周知に取り組んでいる。
- (4) 子どもの減少に伴い、子育て世帯同士の交流機会の減少も見込まれることから、子育てに関する不安解消や情報交換を行うための子育て支援施設の必要性は高いと考えている。
- (5) 今年度試行している移動子育て広場には多くの親子が来場しており、屋内遊戯施設の設置を強く望む声を伺っている。

問 子育て支援について

質問

少子化が進んでいることを考慮して、子ども医療費の無料化を来年度より実施する考えはあるか。

市長答弁

来年度からの実施に向けて、前向きに検討している。

その他の質問項目

- 糸魚川市の魅力づくりについて
- 諸課題の取組方針について

利根川 正
議員



問 大糸線の存続について

質問

- (1) 大糸線を観光路線の方向へ変えていくべきだと思うが、市の考えを伺う。
- (2) 地域住民が大糸線を自分達の鉄道と思い、動いてもらわなくてはならない。地域住民との協議の場を設けることはできないか。
- (3) 大糸線の魅力を全国に発信するため、大糸線地域おこし協力隊の採用結果と仕事の内容を伺う。また、今回初めて実施した大糸線応援隊ファンミーティングの成果について伺う。
- (4) 北陸新幹線の敦賀延伸による客数を増やすため、また、海外の団体ツアーを呼び込むためにトップセールスが必要だと考えるが、市長の考えを伺う。
- (5) 鉄道ネットワーク維持の考え方（災害時の移手段）などを踏まえ、国鉄改革の実施者である国から方向性を示してもらわなければならないと思うが、市の考えを伺う。
- (6) 会社側は大糸線に対して経営努力してきたのか、市の考えを伺う。

市長答弁

- (1) 沿線自治体やJR西日本等と構成する大糸線活性化協議会において、観光利用の強化に取り組んでいるところである。
- (2) 令和元年と3年に、沿線の駅ごとに住民との懇談会を開催しており、今後も協議の場を設けていく。
- (3) SNSを活用した大糸線や沿線の魅力の情報発信等を担当することとしている。また、先月20日に開催したファンミーティングには、11人の応援隊員から参加していただき、「利用促進のために応援隊として取り組めること」をテーマに活発な意見交換を行った。今後、頂いた意見を参考にして、取組を進めていく。
- (4) 職員が県や近隣市町村との連携により、大阪駅での誘客イベントや台湾でのセールスに参加する予定である。時期を捉えて、他の活動の中でも、私自身セールスに参加していく。
- (5) 御指摘のとおりであり、国の責務を果たすよう、県や沿線自治体と連携して、国に要望していく。
- (6) 運行本数の維持や大糸線活性化協議会の一員として、利用促進に取り組んでいるものと認識している。

その他の質問項目

- マイナンバーカード取得の推進について
- 地域資源を活かした新エネルギーについて



横山 人美
議員



問 市民のセルフネグレクトと孤独死を防止するための、環境と福祉の両面から見た「住居荒廃(通称:ごみ屋敷)」への行政の関わり方と、ごみ屋敷条例の制定の必要性について

質問

- (1) 平成29年度に環境省が全国1,741市区町村を対象に行った「ごみ屋敷」に関する調査において、県内で事案を認知していたのは9件であった。市はこの調査において、どのような回答をしたか。
- (2) 市内に「セルフネグレクト」や「孤独死」の事例や課題はあるか。
- (3) 市として、住人がいる「住居荒廃」の課題について市民から相談があった場合、環境と福祉の両面から、どのような関わり方をしているか。また、どこまで介入できると考えているか。
- (4) 課題の早期発見や介入・支援を円滑に進めていくための条例制定を提案したいと考えるがいかがか。

市長答弁

- (1) 認知はしていないと回答している。
- (2) セルフネグレクト及び孤独死に関する市への相談は年間数件ある。本人の支援拒否により、問題が表面化するまでに時間が掛かることや、支援体制を築きにくいことが課題と捉えている。
- (3) 市民からの連絡等により情報を把握し、現地確認した上で、所有者等に対して、適正に管理するように依頼している。また、所有者等の状況に応じて、速やかに関係機関と情報共有を行っている。
- (4) 情報収集に努め、支援体制を検討していく。

問 市内産業の振興と人材の確保のための更なる施策の必要性について

質問

- (1) UIターンの若者や、中途採用を希望する方の就職状況と課題について何う。
- (2) 10年後の市内産業の行方をどのように予測しているか。

市長答弁

- (1) おおむね希望する職業に就いているものと捉えているが、有効求人倍率が高い状況が続いていることは課題である。
- (2) ITやICTの更なる進化がもたらす生産性の向上と、新たな産業の創出により、若者や女性の雇用につながっているものと期待している。

東野 恭行
議員



問 時代に適応した住みやすい糸魚川のまちづくりについて

質問

- (1) インバウンド観光における市の受入体制と、これからの展望について何う。
- (2) 市の「大糸線利活用」に関する本年度の取組実績と、今後の在来線存続に対する考え方について何う。
- (3) 市に既存する「道の駅」に関する活性化策と、将来の展望について何う。
- (4) 令和5年度以降、産科医師の確保が困難であった場合、産後、安心して当市で育てていただくための施策について何う。
- (5) 保育園の民営化により、保育サービスの充実や市政の健全化が見込まれると考えるが、保育園の民営化の見通しと懸念事項を何う。
- (6) 本年度、高校魅力化コーディネーターが3人任用されたが、今後何年計画で、どのような効果を期待しているのか。
- (7) 市内の中小零細企業が利益を上げ、物価高騰に見合った人件費を支払うために、市ができることは何か。

市長答弁

- (1) 市と観光協会が一体となり、県や北アルプス日本海広域観光連携会議と事業を進めているが、更なる現地旅行社からの情報収集や市内宿泊施設の受入実態等の調査により、ニーズに合った体制と情報発信を展開していく。
- (2) 沿線自治体等と構成する大糸線活性化協議会において、えちごトキめきリゾート雪月花の乗入れを始め、サイクルトレイン、乗車イベントの経費助成等の事業に取り組んできている。今後、北陸新幹線敦賀延伸やインバウンドの回復等により利用増加が期待される中、利用促進と地域の活性化につながる取組を進めていく必要があるものと考えている。
- (3) 道の駅に期待される機能の検証と施設の老朽化への対応を検討するとともに、周辺観光施設との周遊による誘客を図っていく。
- (4) 現在、居宅訪問型の産後ケアなどに取り組んでおり、今後もニーズに沿った支援を進めていく。
- (5) 民営化に係る保護者等の理解を得ることや、移管する園の適正規模と移管先法人等の選定に一定の時間を要するものと考えている。
- (6) 探究プロジェクトなどを行う中で、生徒が18歳で自立し、地域に愛着を持つことや市内3高校の入学者数の増加などを効果として捉えている。
- (7) 市民一人ひとりの市内消費を喚起し、景気を後退させないことが、市内事業者の支援につながるものと考えている。



和泉 克彦
議員



問 当市の空き家・空き地の現状と対策、課題について

質問

- (1) 空き家及び空き地に対する市民からの意見や苦情などを受け付ける窓口体制と、具体的な対応方法はどのようになっているのか。
- (2) 特定空家等への助言・指導、勧告、命令又は行政代執行の概要と実施件数について伺う。
- (3) 空き家等を移住・定住促進や企業活動支援、地域づくり支援などへ更に積極的に利活用すべきと考えるがいかがか。

市長答弁

- (1) 苦情等の窓口は環境生活課及び能生・青海事務所となっており、市民からの連絡を受け、現地を確認した上で、所有者等に対して、適正管理の依頼を行っている。
- (2) 所有者等に対して文書により適正管理を促し、改善が見られない場合に、行政代執行を行っている。当市ではこれまでに特定空家等4件に対し、3件の代執行を行っている。
- (3) 今後も魅力ある情報発信に努め、官民連携を図りながら、移住定住の促進等につなげていく。

問 登録文化財等を利用した地域の観光振興について

質問

- (1) えちごトキめき鉄道の市振駅駅舎と隣接するランプ小屋、そして、親不知駅駅舎が登録有形文化財に登録されることを契機に、市振、親不知地域の更なる文化振興について、どのように対応するのか。
- (2) 市振駅、親不知駅を利用した観光振興について、今後の取組を伺う。

市長答弁

- (1) 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 親しらず」などと併せて、貴重な文化財を適切に保存するとともに、積極的に情報発信を行う中で、観光や教育等に活用していく。
- (2) 天険親不知が有する自然、文化財、2つの道の駅などの観光エリアに、市振駅及び親不知駅が加わることから、より一層、交通事業者や地域と連携を図り、豊富な観光資源を活かしたツアーの造成や誘客宣伝等に努めていく。

その他の質問項目

- 安全保障問題の地域住民や企業への影響について

新保 峰孝
議員



問 柵口温泉権現荘について

質問

- (1) 柵口温泉権現荘の指定管理者募集の結果と来年度の権現荘運営について、どのように考えているか。
- (2) 権現荘は大改築と温泉センターの統合が行われ、平成27年8月にリニューアルオープンした。市長は誰のために、何のために約4億円もの事業費を掛け、リニューアルしたのか。目的は何だったのか。
- (3) この7年間に、権現荘に対して市が支出する費用の範囲を拡大してきたのではないかと。また、民間の宿泊業と権現荘はどこが違うと考えてきたのか。
- (4) 社会の発展、それに伴う人の流れの変化を的確に把握できなければ宿泊業は無理ではないかと。市長はどのように責任を取るつもりか。

市長答弁

- (1) 指定管理者の応募がなかったことから、民間譲渡の可能性を検討している。当面、日帰り温泉の営業は続けていきたいと考えている。
- (2) 施設の利便性や機能性の向上を図り、利用者の増加に努め、交流人口の拡大につなげることを目的としてリニューアルしたものである。
- (3) 指定管理者制度の活用により、適切な支出に努めてきた。また、周辺観光施設との連携により地域振興に寄与するものと考えている。
- (4) 次年度以降の対応は検討中であるが、今後も適切な管理となるよう努めていく。

問 フレイル予防について

質問

- (1) 高齢化が進むにつれ、健康体と要介護の中間層で、フレイル（虚弱）状態にある方たちへの対策（身体運動）が大事になると思うが、どのように取り組んでいるか。
- (2) 年代によって筋力低下の進み方が違うと思うが、フレイル予防のための基礎知識の普及については、どのように行っているか。

市長答弁

- (1) 主に地区公民館を会場に、筋力測定によるフレイルチェックと栄養、運動、口腔ケアに関する教室を開催し、啓発に努めている。
- (2) 65歳以上の方には、フレイル予防教室で実際に筋力を測定するなど、分かりやすく啓発を行っている。64歳以下の方には、広報等により、早めにフレイル予防に取り組むことの重要性を啓発している。

その他の質問項目

- コロナ禍における子育て支援策の強化について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 産婦人科医師確保の取組等について



近藤 新二
議員



問 新型コロナウイルス関連融資の返済について

質問

新型コロナウイルス感染症の拡大のほか、原油価格や物価の上昇により、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しく、大幅な改善は困難な状況にある。国の動向と返済期限の延長、新たな融資の支援について伺う。

市長答弁

信用保証制度における借換え需要に加え、新たな資金需要にも対応する制度を創設するとされており、令和4年中には詳細が示されるものと考えている。

問 松くい虫の駆除と対策について

質問

全国の松くい虫（マツ材線虫病）による被害は、令和3年度には約26万立方メートルでピーク時の9分の1程度の水準となっているが、依然として我が国最大の森林病虫害とされている。

地域によっては新たな被害の発生が見られるほか、被害が軽微になった地域においても、気象要因等によっては再び激しい被害を受けるおそれがあることから、引き続き被害状況に即応した的確な対策を推進していく必要がある。

市の取組について伺う。

市長答弁

市内の被害状況は減少傾向にあるが、令和3年度においては対前年比で微増している。今後とも県と連携して被害状況の把握及び相談窓口体制の整備を進めていく。

問 市管理の建築物に含有しているアスベストについて

質問

大気汚染防止法の一部を改正する法律が令和2年6月5日に公布され、建築物等の解体等工事における石綿の飛散を防止するため、全ての石綿含有建材への規制を拡大するとともに、都道府県等への事前調査結果の報告の義務付け及び作業基準遵守徹底のための直接罰の創設等、対策が一層強化された。

一定規模以上の建築物等について、石綿含有建材の有無にかかわらず、元請業者等が事前調査結果を都道府県等へ報告することを令和4年4月から義務付けられた。

市は数多くの建築物を所有しているが、調査費や工事費等をどのように捉えているか、市の考えを伺う。

市長答弁

これまで以上に詳細な対応が必要となることから、費用等も増えると考えており、適正な対応に必要な調査費、工事費の確保に努めていく。

田原 実
議員



問 一人ひとりに寄り添う医療で誰もが安心して暮らせるまちの実現に向けて、糸魚川市の地域医療の現状と課題について

質問

- (1) 基幹病院である糸魚川総合病院の医師、看護師、医療スタッフの確保と診療科確保について伺う。
- (2) 市内開業医の高齢化と医療の空白地への対応、中山間地域の高齢者への医療について伺う。
- (3) 医療人材の育成について伺う。

市長答弁

- (1) 引き続き糸魚川総合病院の協力の下、富山大学などへ医師派遣の働き掛けを強化し、医師・診療科の確保に努めていく。
- (2) 糸魚川総合病院や医師会など関係機関と連携し、へき地及び中山間地域の医療体制の維持確保に努めていく。
- (3) 医師・医療技術者修学資金貸与事業に加え、高度医療技術者人材育成支援事業に取り組んでいる。また、病院と連携し、医療従事者の確保と人材育成に努めている。

問 復興まちづくり計画の成果と被災地の現状、子育て支援施設建設の諸課題と被災者・住民への行政対応について

質問

- (1) 復興まちづくり計画の目的と費やされた事業費及びその効果について伺う。また、市長は被災者や周辺住民からの様々な声を直接聞いたか。
- (2) 子育て支援施設計画の内容とスケジュールについて伺う。
- (3) まち中心部に被災者・住民も高齢者も若い世代も住みやすい環境を整備し、利便性をつくることで「にぎわい」は生まれる。子育て支援施設計画は、そのことと合致しているか。

市長答弁

- (1) 復興計画は、迅速に復興まちづくりを推進するため策定したものである。令和4年3月までの事業費は約46億円で、5年間で順調に推移したと評価している。計画の推進に当たっては、被災者説明会、区長等との懇談会等により意向把握に努め、被災者の早期再建と被災地の復興に寄与してきたものと考えている。
- (2) 年度内に、施設整備の方針、機能、規模、概算費用等をまとめた基本計画を策定し、来年度は事業者の募集、選定を行いたいと考えている。
- (3) 若者や子育て世代が利用し、活動しやすい環境が増えることで、多様な世代が集い、まちの活性化やにぎわいにつながることを目指している。



阿部 裕和
議員



問 フレイル予防の推進と健康ポイント制度の導入について

質問

- (1) 今年度のフレイル予防事業の実施状況について伺う。
- (2) フレイルチェック後のデータは、どのように活用されているか。
- (3) フレイル予防事業を進めていく中で、課題は何だと捉えているか。
- (4) 定期的なフレイルチェック、フレイル予防の周知啓発活動を加速させるため、フレイルサポーターを設置し、取組を進める考えはあるか。
- (5) 健康づくり、社会参加の促進、健康無関心層を動かすために効果的な健康ポイント制度導入をどのように進めていくか、進捗状況も踏まえ、今後の展望について伺う。

市長答弁

- (1) 地区公民館など28会場にてフレイル予防教室を実施しており、11月末現在355人が参加している。
- (2) チェック結果を参加者へ伝えることで、フレイル予防を促すとともに、会場ごとのデータを集計し、地域の特性を捉えた上で保健指導に活用している。
- (3) 健康寿命を延ばすためには、若い世代のうちからフレイルについての知識を高めるとともに、予防教室等への参加者を増やしていくことが必要であると考えている。
- (4) 既存の健康づくり団体等と連携することで、取り組んでいきたいと考えている。
- (5) 現在実施している健康ポイントラリー事業と合わせて、市民の動機付けにつながるような電子地域通貨の導入に向けた検討を進めている。

問 お金の地産地消「デジタル地域通貨制度」の導入について

質問

- (1) デジタル地域通貨制度を導入することで、どんな効果が期待できるか。
- (2) マイナンバーカードとデジタル地域通貨制度を連動させることで、どんな効果が期待できるか。

市長答弁

- (1) 地域内の経済循環による活性化のほか、ポイント付与を通じて、各種施策における市民の関心や成果につなげていきたいと考えている。
- (2) オンライン申請によるポイント付与が可能となり、市民の利便性の向上が期待できると考えている。

田原 洋子
議員



問 車の安全装置の助成について

質問

- (1) 後付けの踏み間違い急発進抑制装置の購入費用を助成する考えはあるか。
- (2) 高齢者が安全運転サポート車(サポカー)を購入する際に、費用を助成する考えはあるか。

市長答弁

- (1) 高齢者の交通事故防止に有効な手段であることから、助成制度の導入を検討している。
- (2) 今後、国、県の動向及び先進事例等の情報収集に努めながら検討していく。

問 グリーンスローモビリティについて

質問

- (1) バスの本数が少なく、鉄道を利用している観光客が不便を感じている、能生駅からマリンドリーム能生への観光客の足として活用できないか。
- (2) バス停、駅へのアクセス、買物ができる場所までの交通手段として活用するためには、どのような課題があるか。

市長答弁

- (1) 地元や警察、道路管理者等と調整の上、実証運行の実施を検討していく。
- (2) 走行速度が遅いため、交通量が多い道路での走行や長い距離の移動には向かず、運行ルートが限定される点が課題であると考えている。

問 シーサイドバレースキー場について

質問

- (1) 収入を増やし、経営を改善するため、現在の社会情勢に合わせて、リフト利用料金、宿泊料金、入浴料金を見直す考えはあるか。
- (2) 人材確保のために、社員寮として空き家を活用する計画はあるか。
- (3) キャンプやグラウンドゴルフなど、新たなグリーンシーズンの取組を検討しているか。

市長答弁

- (1) 条例に規定する利用料金の範囲内で、今シーズンから、料金改定を行った。
- (2) 現在、社員寮としての空き家活用の計画はない。
- (3) キャンプ場の設置を検討している。



田中 立一
議員



問 駅北地区小規模改良住宅建設工事監理業務委託及び駅北大火復興市営住宅実施設計業務委託について

質問

- (1) 「復興市営住宅建築工事監理業務委託」について、工事監理業務委託面積を確認済証などに示されている延べ床面積1,396㎡ではなく、金額の高くなる施工床面積にした根拠は何か、所見を伺う。
- (2) 「構造計算適合判定必要の確認申請手続」や「透視図作成」といった8件の追加業務を求めているが、提出された資料には見当たらないものがある。全て提出されていると思うが、確認し、保存しているか伺う。

市長答弁

- (1) 国が示す設計業務等の積算基準では、床面積の合計とは各階の水平投影面積の合計とされており、建築確認面積だけではなく、共有廊下等を含む面積の合計で積算している。
- (2) 追加業務に関しては、別つづりやデータで保管している。

問 木浦地区公民館解体工事について

質問

- (1) アスベスト除去についての説明が欲しかったという地元住民の声が聞かれる。通学の交通安全性と共にアスベストへの不安解消に努めるためにも、地元住民への説明・周知を行うべきではなかったか。
環境配慮対策を必要とする工事を発注する場合の地元住民説明の対応について、考えを伺う。
- (2) 発注に当たり事前に行ったアスベスト調査では、追加となったアスベストをなぜ発見できなかったのか。

市長答弁

- (1) 解体工事については区長と周辺3世帯に説明しているが、アスベストに係る周辺住民への説明は、今回の除却工事が県の条例では住民周知の対象となっていなかったことから、行っていない。今後も法令に基づき対応することとなるが、解体場所の立地などにより状況が異なるので、地元区長等とも相談する中で対応していく。
- (2) 新たに確認したアスベスト含有建材は屋根の内部にあり、発注後、現場で確認したものである。

その他の質問項目

- 健康づくりセンター「はびねす」第1期工事の設計業務委託について
- 神代桜の宇宙桜について
- グリーンスローモビリティ(通称：グリスロ)について

古畑 浩一
議員



問 新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻、物価上昇など経済不況に対する糸魚川市の対応について

質問

- (1) 困窮する市民生活、医療・福祉・教育・サービス業などに対して、どのように対応するのか。
- (2) 行動自粛と経済浮揚。この矛盾をどう克服するのか。

市長答弁

- (1) 医療機関や福祉施設に対する光熱費等の上昇分の支援や、今すぐ宴キャンペーン、元気応援券等による経済対策を実施してきている。また、本定例会において、困窮されている方への支援について、補正予算を計上しているところであり、今後も国の動向を注視しながら、必要な支援に努めていく。
- (2) 行動制限はないが、自粛傾向は依然として見られており、市内消費を更に喚起する必要があると考えている。

問 人口問題と少子化。「医・職・住」の充実など総合計画の必要性について

質問

- (1) 様々な施策を展開しているが、人口問題を総合的に捉えて、これまで個々に取り組んできた出会いから結婚、出産、子育て、進学、地元定着、老後までを一連とし、安心して生み育てる、「終の棲家」までのプランニングを策定すべき。生まれてから他界するまでの総合計画「イトヨ・プラン」を策定すべきではないか。
- (2) 子育て支援センターの概要と、この施設が優先的に必要なのか伺う。

市長答弁

- (1) 今年度からスタートした総合計画を着実に進め、人口減少対策を講じていく。また、結婚を希望する男女への支援とともに、安心して子どもを産み育てることができ、若者が生き活きと活躍できる環境づくりに向けて、庁内連携を図りながら取り組んでいく。
- (2) 子育て環境と市の中心市街地における都市機能を充実させることを目的に、子育て世帯の交流と妊産婦支援を促進する機能を始め、天候に左右されずに子どもが安心して遊べ、若者から高齢者までの多世代交流を促進するための機能等を備えた施設整備を計画している。また、少子化に伴い、子育て世代間の交流機会が減少する中、子育てに関する悩みや不安を抱える保護者の居場所づくりの必要性はより高まっているものと考えている。

その他の質問項目

- 権現荘を今後どのように運用するのか。また、過去の経営責任はどうするのか

議案の審議結果

第6回定例会（11月28日～12月15日）

番号等	件名	結果
77	糸魚川市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決
78	糸魚川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	可決
79	糸魚川市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
80	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
81	糸魚川市須沢臨海公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
82	糸魚川市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決
83	糸魚川市集落排水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
84	糸魚川市浄化槽事業条例の一部を改正する条例の制定について	可決
85	糸魚川市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について	可決
86	市の区域内に新たに生じた土地の確認について	可決
87	字の変更について	可決
88	訴えの提起について	可決
89	指定管理者の指定について（おててこ会館）	可決
90	指定管理者の指定について（能生マリンホール）	可決
91	指定管理者の指定について（能生海洋公園）	可決
92	指定管理者の指定について（海の資料館 越山丸・マリンミュージアム 海洋）	可決
93	指定管理者の指定について（グリーンメッセ能生）	可決
94	指定管理者の指定について（シャルマン火打スキー場）	可決
95	指定管理者の指定について（シーサイドバレースキー場）	可決
96	指定管理者の指定について（白馬山麓国民休養地）	可決
97	指定管理者の指定について（田屋会館）	可決
98	指定管理者の指定について（下湯川内センター）	可決
99	指定管理者の指定について（田伏会館）	可決
100	指定管理者の指定について（根小屋多目的集会センター）	可決
101	指定管理者の指定について（大所ふれあいセンター）	可決
102	指定管理者の指定について（上早川農村公園）	可決
103	指定管理者の指定について（焼山の里ふれあいセンター）	可決
104	指定管理者の指定について（木地屋の里）	可決
105	指定管理者の指定について（海谷三峡パーク）	可決
106	指定管理者の指定について（雨飾山麓しろ池の森）	可決
107	指定管理者の指定について（不動滝いこいの里）	可決
108	指定管理者の指定について（親不知漁港船舶保管施設）	可決
109	指定管理者の指定について（セイフティコミュニティ広場）	可決
110	指定管理者の指定について（糸魚川市小柳墓地）	可決
111	指定管理者の指定について（糸魚川市中宿墓地）	可決
112	指定管理者の指定について（糸魚川市下大野墓地）	可決
113	指定管理者の指定について（糸魚川市新舟共同墓地）	可決
114	指定管理者の指定について（糸魚川市小坂地区共同墓地）	可決
115	指定管理者の指定について（糸魚川市今村新田墓地）	可決

番号等	件名	結果
116	指定管理者の指定について（糸魚川市タンク山墓地）	可決
117	指定管理者の指定について（糸魚川市石垣墓地）	可決
118	指定管理者の指定について（糸魚川市玉ノ木墓地）	可決
119	指定管理者の指定について（障害者地域活動支援センターこまくさ）	可決
120	指定管理者の指定について（健康づくりセンター）	可決
121	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第7号）	可決
122	令和4年度糸魚川市集合支払特別会計補正予算（第1号）	可決
123	令和4年度糸魚川市ガス事業会計補正予算（第1号）	可決
124	令和4年度糸魚川市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
125	令和4年度糸魚川市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可決
126	令和4年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
127	令和4年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	可決
128	令和4年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
129	令和4年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
諮問4	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
請願4	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	不採択
請願5	免税軽油制度の継続に関する請願	みなし採択
陳情10	家族農業を守り、食料自給率の向上を目指す食料・農業政策への転換を求める意見書の提出について	不採択
陳情11	民主主義の根幹である法の下での平等を守る為の陳情	継続審査
発議7	免税軽油制度の継続に関する意見書	可決
発議8	糸魚川市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決
発議9	J R 大糸線存続に関する意見書	可決

人事案件

各種委員の選任等について、市長から同意や意見を求められたものに対して、議会で審議し、同意や答申をします。

人権擁護委員候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されましたので、適任と認め、答申しました。

任期 令和5年4月1日から3年間

いりえ わかこ
入江 和佳子 さん（再任・横町）

いし い せい すけ
石井 清介 さん（新任・桜木）

行政視察受入状況

糸魚川市議会では、行政視察の受入を行っています。

令和4年中の視察受入団体名
(合計13団体95人) ※都道府県番号順

福 島 県 / 福島市議会
 神 奈 川 県 / 三浦市議会
 箱根町議会
 新 潟 県 / 柏崎市議会
 十日町市議会
 上越市議会
 石 川 県 / 白山市議会
 福 井 県 / 大野市議会
 愛 知 県 / 一宮市議会
 京 都 府 / 宮津市議会
 鳥 取 県 / 米子市議会
 山 口 県 / 岩国市議会
 愛 媛 県 / 新居浜市議会

市議会議員研修会

10月18日に株式会社地方議会総合研究所の代表取締役 廣瀬 和彦氏を講師にお招きし、「議員が守るべき政治倫理とは」をテーマに研修会を行いました。



糸魚川市・小谷村・白馬村 議会議員連絡協議会

11月11日に白馬村において糸魚川市・小谷村・白馬村議会議員連絡協議会を開催し、懇談会や現地視察等を行いました。

●懇談会テーマ

議会におけるタブレットの活用(ペーパーレス化)について
広域(周遊)観光と大糸線の利活用について



J R大糸線に関する懇談会

12月19日にJR西日本金沢支社と「JR大糸線の現状と今後の取組について」をテーマに懇談会を行いました。JR西日本から大糸線の利用状況などの説明があり、その後、意見交換を行いました。



議会を傍聴
しませんか

3月市議会定例会の会期及び日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20 本会議 初日	21	22	23	24 議会運営 委員会	25
26	27	28	3/1	2	3	4
本会議 一般質問						
5	6 建設産業 常任委員会	7 市民厚生 常任委員会	8 総務文教 常任委員会	9	10 予算審査特別委員会	11
12	13 予算審査特別委員会	14	15	16 議会運営 委員会	17 本会議 最終日	18

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、他の傍聴者と間隔を空けてお座りください。

※3月定例会で議題とする請願・陳情は、2月10日(金)までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

◆◆◆ 市議会をホームページでご覧いただけます。◆◆◆

市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像及び予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。

※本会議及び予算審査特別委員会の録画映像はYouTube「糸魚川市議会チャンネル」で配信しています。



本会議
生中継配信



本会議
録画中継配信



糸魚川市議会
ホームページ

市議会ホームページは、「糸魚川市議会」で検索いただくか、下の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取るとご覧いただけます。

糸魚川市議会